

図・書・紹・介

・当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。
【貸出しのお約束】・1人5冊まで ・期限：2週間 ・利用時間：9時～17時



『土佐堀川 女性実業家広岡浅子の生涯』古川智映子／潮出版社／1,728円(税込)
◆平成27年度NHK朝ドラ「あさが来た」のヒロイン広岡浅子の半生。幕末から明治維新の時代を逞しく生きた女性の姿に感動します。



『幸せになる勇氣』岸見一郎／ダイヤモンド社／1,620円(税込)
◆ミリオンセラー「嫌われる勇氣」の続編。「アドラー心理学」の誰もが幸せに生きるためにすべき「人生最大の選択」とは何か。対話形式で読みやすい。



『下層化する女性たち』小杉礼子／勤草書房／2,700円(税込)
◆表面化しにくい女性の貧困を分析。主婦パートの低賃金問題や、増加している女性ホームレスなど、若年貧困女性の実態を可視化。問題点、支援策を考えます。



図書コーナーをご利用ください

●男女共同参画に関する書籍のほか、話題を呼んだ一般書籍も多く取り揃えております。ぜひお立ち寄りください！

ひとりで悩まないで…
気軽に相談を…



女性専用電話相談です。
相談は無料で秘密は厳守します。

とらいあんぐるん相談室

電話 027-224-5210

●相談日と時間

	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
13:00～16:00	○	○	○	○	-	-

・年末年始(12/29～1/3)、祝日は休み ・月曜日が祝日の場合、火曜日も休み

【相談内容】家庭の問題の他、女性の自立や能力の発揮、性差に関する悩みなど…

センターのご案内



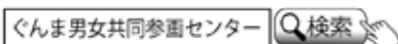
●お車で越しの際は、県内「県民駐車場」をご利用ください。(2時間まで無料)

- 開館時間：火～金 9:00～21:00
土・日・祝 9:00～17:00
- 休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)
12月29日～1月3日

〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12

電話 027-224-2211 FAX 027-224-2214

メール sankakuse@pref.gunma.lg.jp



●研修室貸出しのご案内



- 大研修室《半日：3,600円》
- 小研修室《半日：820円》
- 中研修室《半日：1,640円》
- 図書・交流コーナー

●編集後記

今回、「まめ知識」で群馬県男女共同参画基本計画(第4次)を取り上げましたが、本誌「とらいあんぐるん」も、計画の基本方針Ⅲ・基本目標8「制度・慣行、意識の変革、支援体制の整備」の一環として発行しています。皆さんが、本誌に目を通したり、ぐんま男女共同参画センターの開催する行事に参加して下さることも、第4次計画の推進につながっていきます。皆さまと協力しながら、計画の基本理念「男女が性別にかかわらず、一人ひとりの考え方や生き方が尊重される社会、あらゆる分野への参画の機会が保障され、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現」を目指していきたいと思っております。(洋)

とらいあんぐるん

ぐんま男女共同参画センター通信

2016年6月 No.41



ぐんま男女共同参画センター
〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12
TEL: 027-224-2211
FAX: 027-224-2214
メール: sankakuse@pref.gunma.lg.jp

～男女共同参画社会の実現を目指し活躍する人たち～

企画 インタビューコーナー 第16回
いせさき銘仙の会 代表世話人 杉原みち子さんに聞く



●伊勢崎銘仙の魅力

今日は初夏を思わせるような陽気だったので、爽やかな色合いの着物を選んでみました。この着物、ぼかしのような淡い色彩が染めに見えるかもしれませんが、「ポーラ餅」とよばれるものなんです。

ここ「いせさき明治館(伊勢崎市曲輪町)」には、大正から昭和にかけて関西方面に出荷された銘仙が数多く展示されています。現代にも通用する斬新なデザインの伊勢崎銘仙ですが、昭和初期に国内有数の産地となった後、洋装の流行に伴い生産が減ってしまいました。

伊勢崎市観光物産協会では、3月の第1土曜日を「いせさき銘仙の日」とし、広く伊勢崎銘仙のPRにつとめています。「いせさき銘仙の会」でも、銘仙の魅力を皆さんに知っていただくため「The Meisen Revolution ～銘仙



伊勢崎銘仙の魅力を小物販売で使った

ファッションショー～」など様々な活動を行っています。

●伊勢崎男子は元祖「イクメン」?

大正時代から昭和初期にかけて一世を風靡した伊勢崎銘仙ですが、市の産業をリードしていた織物業の稼ぎ手(織り手)は女性でした。一家の大黒柱である女性が働いている間、男性は率先して家庭で育児を行っていたそうです。伊勢崎では100年も前から普通に「イクメン」がいたことになりすね。

●銘仙で男女共同参画

伊勢崎銘仙の魅力を知ってもらおう活動をしている私たちですが、特に、これからの社会を担っていく若い世代の皆さんへの普及に力を入れています。子ども達に①着てもらおう、②感じてもらう、③知ってもらおう、④ファンをつくる、ことが大切だと考えています。

銘仙は女性のためだけのファッションではありません。男女問わず銘仙のファンになってほしいのです。

市内の中学校で伝統文化のふるさと学習



を行った際、銘仙着用体験をしてもらいました。ポップでアートなデザイン、鮮やかな色彩をもつ銘仙は男子生徒にも人気。銘仙ってまさに「男女共同参画」じゃないですか?

●女性が働きやすい職場とは

私は、電子機器を製造している会社で取締役をしており、3人の子育てと仕事を両立してきました。

私の考える「女性が働きやすい職場」とは、女性の力を発揮させるトップがいる職場です。女性がキャリアアップするためには、自身の努力はもちろん、女性を活躍させ、女性同士の支える力が必要なのです。

●支えること

子育てをしていたとき、学校のPTAの役員を頼まれたことがあります。夫に相談したところ、社会参加を積極的に応援し、私の背中を押してくれました。

その後も県教育委員長などの役職を多数経験させていただいていますが、仕事や家庭を持っている自分を理解し支えてくれる夫があったから、様々なことに参画できたのだと思います。

夫婦とは最も小さな社会基盤の一つ。その中でお互いが支え、尊敬し、感謝し合うことが男女共同参画の基本なのではないでしょうか。



伊勢崎市観光物産協会の金井さんと

インタビューコーナーでは、「男女共同参画社会の実現を目指し、さまざまな立場で活躍している人」を紹介します。